

# 令和3年度 事業計画

公益社団法人 日本皮膚科学会

## 令和3年度 日本皮膚科学会 事業計画

### 1. 学術大会、講習会、その他の研究集会の開催

#### (1) 総会、学術大会

- ・第120回日本皮膚科学会総会

会頭：大槻 マミ太郎（自治医科大学）

会期：令和3年6月10日（木）～6月13日（日）

場所：パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

- ・第85回日本皮膚科学会東部支部学術大会

会長：宇原 久（札幌医科大学）

会期：令和3年9月18日（土）～19日（日）

場所：ロイトン札幌（北海道・札幌市）

- ・第85回日本皮膚科学会東京支部学術大会

会長：佐伯 秀久（日本医科大学）

会期：令和3年11月13日（土）～14日（日）

場所：京王プラザホテル（東京都・新宿区）

- ・第72回日本皮膚科学会中部支部学術大会

会長：浅田 秀夫（奈良県立医科大学）

会期：令和3年11月20日（土）～21日（日）

場所：奈良県コンベンションセンター（奈良県・奈良市）

- ・第73回日本皮膚科学会西部支部学術大会

会長：天野 正宏（宮崎大学）

会期：令和3年10月30日（土）～31日（日）

場所：シーガイアコンベンションセンター（宮崎県・宮崎市）

- ・上記のとおり日本皮膚科学会総会及び支部学術大会の運営を本部にて実施し、総会の講演についてはE-learningを実施

#### (2) 講習会

- ・必須（総会）

日時：令和3年6月13日（日）9:20～13:20

場所：WEB開催

- ・必須（夏）

日時：令和3年8月28日（土）10:30～16:00

場所：WEB開催

・必須（冬）

日時：令和4年1月9日（日）10：00～15：30

場所：学術総合センター（東京都・千代田区）

・選択（夏）

日時：令和3年8月29日（日）10：00～15：30

場所：WEB開催

・選択（冬）

日時：令和4年1月8日（土）12：30～16：30

場所：学術総合センター（東京都・千代田区）

・東部支部企画

日時：令和3年9月19日（日）

場所：ロイトン札幌（北海道・札幌市）

・東京支部企画

日時：令和3年11月14日（日）

場所：京王プラザホテル（東京都・新宿区）

・中部支部企画

日時：令和3年11月21日（日）

場所：奈良県コンベンションセンター（奈良県・奈良市）

・西部支部企画

日時：令和3年10月29日（金）

場所：シーガイアコンベンションセンター（宮崎県・宮崎市）

(3) 研修会

・皮膚悪性腫瘍指導専門医研修会

日時：令和3年7月10日（土）

場所：ホテル ブエナビスタ松本（長野県・松本市）

・美容皮膚科・レーザー指導専門医研修会

日時：令和3年8月1日（日）

場所：大阪国際会議場（大阪府・大阪市）

(4) Clinical Dermatology Leadership Seminar 2021

日時：令和3年11月6日（土）～7日（日）

場所：オリエンタルホテル福岡ステーション（福岡県・博多市）

(5) 第6回皮膚科サマースクール2021

日時：令和3年9月19日（日）～20日（月・祝）

場所：札幌プリンスホテル（北海道・札幌市）

(6) スペシャリティーナース講習会

日時：令和3年6月13日（日）

場所：パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

\*本講習会の内容を各支部学術大会時にビデオ上映会を開催する。

2. 機関誌その他の刊行物の発行

- ・日本皮膚科学会雑誌（第131巻）

月刊邦文誌、臨時増刊（年1回） 計 年13回刊行

- ・The Journal of Dermatology (Vol. 48)

月刊英文誌 計 年12回刊行

- ・西日本皮膚科（西部支部）(Vol. 83)

偶数月（隔月） 計 年6回刊行

- ・JDA Letter

季刊誌 計 年4回刊行

3. 内外の関連する団体との連携

(1) 国内

- ・「ひふの日」（11月12日）を中心にした一般市民向けの啓発事業の展開  
各都道府県において、講演会、健康相談、無料診断、広報活動等を実施

- ・依頼があった皮膚科関連学会の総会等の大会運営支援を実施

(2) 海外

- ・第14回日独皮膚科学会（14<sup>th</sup> Meeting of the German-Japanese Society of Dermatology）

会長：山本 俊幸（福島県立医大）

日時：令和3年6月16日（水）～18日（金）

場所：ホテル松島大観荘（宮城県・松島町）

4. 皮膚科学に関する調査研究及び治療ガイドライン等の作成

- ・医薬品等による副作用の症例の収集及び医薬品等のより良い使用方法の周知

- ・AI及びTelemedicineの各Working Groupによる検討

- ・ICT医療等の研究の検討

- ・各種ガイドライン及びマニュアル等の新規作成・改訂作業の実施

## 5. 専門医の認定及び皮膚科医研修施設の指定

### (1) 専門医認定

#### ①認定試験の実施

- ・第29回皮膚科専門医認定試験  
日時：令和3年11月7日（日）  
場所：国立京都国際会館（京都府・京都市）
- ・第15回皮膚悪性腫瘍指導専門医認定試験  
日時：令和4年1月末～2月上旬予定  
場所：日本皮膚科学会事務局（東京都・文京区）
- ・第15回美容皮膚科・レーザー指導専門医認定試験  
日時：令和4年1月末～2月上旬予定  
場所：日本皮膚科学会事務局（東京都・文京区）

#### ②関連事業

- ・機構専門医制度における各種対応

### (2) 研修施設

- ・主研修施設及び研修施設の更新、取消等の実施

## 6. 皮膚科学に関する教育、研究の奨励及び業績の表彰

- ・皮膚疾患ケア看護師制度の認定
- ・留学支援制度の実施
- ・皮膚科教育コンテンツ作成
- ・日本皮膚科学会皆見省吾記念賞  
受賞者：武市 拓也／名古屋大学  
受賞論文：SDR9C7 catalyzes critical dehydrogenation of acylceramides for skin barrier formation
- ・日本皮膚科学会・雑誌論文賞  
受賞者：渡邊 友也／横浜市立大学  
受賞論文：横浜市立大学附属2病院における Stevens-Johnson 症候群および中毒性表皮壊死症 132 例の検討

- The Journal of Dermatology Best Paper Prize (2020)
  - 受賞者：福山 雅大 (Masahiro Fukuyama) / 杏林大学
  - 受賞論文：Elucidation of demographic, clinical and trichoscopic features for early diagnosis of self-healing acute diffuse and total alopecia
  
- Master of Dermatology
  - 受賞者：塩原 哲夫 / 杏林大学 名誉教授
  - 受賞テーマ：薬剤性過敏症症候群を初めとするアレルギー性皮膚疾患の病態解明・治療理論の確立
  
- 日本皮膚科学会基礎医学研究費の授与
  - 受領者：北村 真也 / 北海道大学
  - 研究課題：乳房外 Paget 病の発症要因に迫る  
  - 受領者：石塚 洋典 / 大阪大学
  - 研究課題：表皮分化と免疫プログラムの相互制御機構  
  - 受領者：中溝 聡 / 京都大学
  - 研究課題：炎症性皮膚疾患における病原性抗原提示細胞と治療標的の同定  
  - 受領者：福本 毅 / 神戸大学
  - 研究課題：iPS 細胞を用い細胞老化に着目した色素性乾皮症の病態解明  
  - 受領者：村瀬 友哉 / 名古屋大学
  - 研究課題：Nlrp1 機能獲得変異による自己炎症性角化症のモデルマウスの作成・病態解析と治療法の開発  
  - 受領者：森坂 広行 / 高知大学
  - 研究課題：先天性表皮水疱症への CRISPR-Cas3 の治療応用
  
- 日本皮膚科学会炎症性皮膚疾患研究費の授与
  - 受領者：渡邊 玲 / 大阪大学
  - 研究課題：皮膚 T 細胞の代謝機構が炎症性皮膚疾患に及ぼす影響の解明
  
- 日本皮膚科学会皮膚医学研究基金の授与
  - 受領者：山口 由衣 / 横浜市立大学
  - 研究課題：単球・マクロファージ分化・形質異常に基づく全身性強皮症の病態解析  
  - 受領者：村田 光麻 / 京都大学
  - 研究課題：皮膚上皮細胞の細胞死誘導メカニズムの網羅的解析

・日本皮膚科学会基礎研究助成の授与

受領者：氏家 英之／北海道大

研究課題：中枢性免疫寛容に着目した自己免疫性水疱症の発症機序の解明

受領者：茂木 精一郎／群馬大

研究課題：皮膚炎症性疾患における温度感受性 TRP チャネルの役割と治療への応用

受領者：高橋 勇人／慶應義塾大

研究課題：免疫寛容機構の記憶の同定と解析

受領者：吉崎 歩／東京大

研究課題：全身性強皮症における病原性 B 細胞の同定と機能解析

受領者：秋山 真志／名古屋大

研究課題：魚鱗癬の病態における表皮脂質異常・バリア障害と炎症との相互作用の解明

受領者：神人 正寿／和歌山医大

研究課題：乾癬およびアトピー性皮膚炎皮膚での表皮角化細胞の増殖における yRNA の役割とバイオマーカーとしての有用性の検討

受領者：澤田 雄宇／産業医大

研究課題：エピジェネティクス修飾を介した皮膚トレランス制御機構の解明

受領者：千貫 祐子／島根大

研究課題：In vitro 解析による成人食物アレルギー耐性獲得の評価法の確立

受領者：中原 剛士／九州大

研究課題：かゆみ・炎症・バリアの相互作用からみたアトピー性皮膚炎の病態における MAPK 経路の関与の解明とその治療応用

7. 皮膚科学に関する国際的な研究協力の推進

・皮膚科関連国際会議出席

・ILDS（国際皮膚科連盟）活動に対し資金援助及び協力

8. 皮膚科学に関する情報の公開

・日本皮膚科学会ホームページの更新

・日本皮膚科学会パンフレットの改定

・皮膚科 Q&A の改訂準備（英文ページの拡大含む）

・皮膚科広報動画作成

9. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

- ・一斉メール配信システム導入に伴う E-mail アドレス登録促進
- ・日本専門医機構との各種折衝（継続事業）
- ・新型コロナウイルス（COVID-19）に関する各種対応
- ・テレビ会議等及び e-learning の拡大、拡充

以上